



えいなん

見えないものだからこそ～人権週間に寄せて～

人権週間に寄せて、6日（月）の朝礼は、絵本「心ってどこにあるのでしょうか」（このひとみ作 いもとようこ絵 金の星社）の読み聞かせをしました。講話の一部を紹介します。

ほっぺ、頭、お腹、手、足…心はいろいろなところにあるのかもしれませんが、そして、心と体は、つながっているのかもしれませんが。嬉しいこと、楽しいことがあると、元気がわいてきます。反対に、悲しいこと、つらいことがあると…お腹や頭が痛くなったり、食欲がわかなくなったりして、元気が出ません。

どんなときに「心」って元気になるのでしょうか。

「ことば」・・・言われて嬉しくなる言葉「ふわふわ言葉」、聞いたことがありますか。「行動」・・・困っているときに親切にしてもらえると、安心します。

6年生の安藤先生は、修学旅行でお土産を買う6年生の子たちに「お土産を買う時に、一番大切なことを言います。それは、お土産を渡す人、一人一人の喜ぶ顔を思い浮かべて買うことです」と伝えました。その話を聞いていて、『まごころ』っていう言葉が、校長先生の頭に浮かびました。

心は、あたたかい言葉や優しい行動で、元気になったり、その反対に、人を傷つけるちくちく言葉や仲間外れや意地悪な行動で、元気がなくなったりします。

心は、だれの目にもみえません。だからこそ、相手のことを考えた言葉や行動が大切なのです。これからも、自分も周りも大切にできる、笑顔いっぱい元気いっぱいの栄南小学校であることを、願っています。

子供たちが作った人権標語を紹介します

- ・ともだちと いっしょにあそぶと たのしいね
- ・なかよくね じぶんもみなも 大切に
- ・いやだけど 空気よんで わらっちゃう
- ・さべつだめ かんせんするよ だれにでも
- ・友だちは すこしのことで きずつくよ
- ・命はね 一つしかない 宝もの
- ・いじめはね 相手と自分の 心をきずつける
- ・気づかいで やさしい言葉を かけようね
- ・一人じゃない 君の近くに ぼくがいる



各学年の廊下に掲示しています。個人懇談会の折に、ぜひご覧ください。ご家庭でも、思いやり、命の大切さなど人権について、ぜひお話していただくとよいかと思います。



5年生「命の授業」

名古屋医専の先生方による「命の授業」を行いました。実際の赤ちゃんの大きさを体感したり、DVDを見たりして、生命誕生の過程を体験的に学びました。



2・4年生「防災教室」

防災アドバイザーの先生や防災課の方に来ていただきました。避難所の南部コミュニティセンターを見学したり、グループで避難袋に入れるものを話し合ったりしました。





6年生修学旅行（京都・奈良）

令和3年11月18日・19日

仲間と一緒に過ごし、心に残る思い出がたくさんできました。